



学び合い高め合って「実りの2学期」に



長い夏休みが終わり、2学期がスタートしました。

休み中、大きな事故や病気の連絡は学校にありませんでしたが、子どもたちもご家族の皆様も、お元気でお過ごしでしたでしょうか。

主役である子どもたちが学校に戻ってくると、活気が戻ってきます。

2学期を無事に迎えられましたこと、ご家庭でのご協力に感謝申し上げます。

1学期、東っ子オリンピック前の5月の全校朝会で、子どもたちに『成長曲線』の話をしました。

右図の青線のように、努力量は勉強や練習をした分だけ、右肩上がりに比例して増えます。

しかし、赤線のように、努力を始めてもしばらくは成果や成長がほとんど見えない状態が続き、多くの人はそこであきらめてしまう、でもその停滞期を超えると、加速度的に一気に上達・成長する（ブレークスルー）、というお話です。

運動が好きな人も苦手な人も、一生懸命取り組んで、今よりも得意に好きになってほしい、と話しました。

実際に私も小学6年生のとき、鉄棒の連続前まわりができるようになりたくて、毎日毎日放課後に学校に行って練習しましたが、何日練習してもまったくできず、でもある日突然、連続20回できるようになり、びっくりした経験があります。

子どもたちは東っ子オリンピックだけではなく、1学期の間、自分に挑戦したり、目標に向かって努力したり、時には休みも入れ、友だちとともにさまざまな場面で頑張っている姿や成長を見せてくれました。

8月に行われた「ジュニア自転車全国大会」では、結果としては出場した子どもたちが望むものではなく、悔しい思いをした子もいましたが、5月から放課後や夏休みに一生懸命練習してきた11人の努力は、それぞれの成長にしっかりと表れていました。

2学期には今年度も、右のような学校行事を行います。

他にも、各学年でさまざまな学習・活動に取り組めます。

始業式で子どもたちに『勝ちに不思議の勝ちあり、負けに不思議の負けなし』という言葉を紹介しました。

“努力をしないとよいことは起こらない。必ず起こるわけではないが、予想以上によいことが起こることもある。”“一方、頑張らないと決してよいことは起こらない。悪いことが起こるときには、努力不足など必ず原因がある。”という意味です。

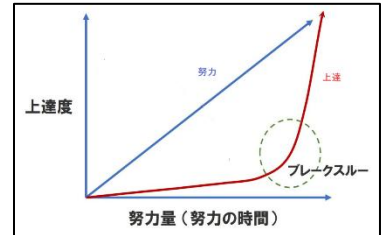
それぞれの行事で、子どもたち一人一人が自分の目標をもってしっかりと取り組み、努力して得た達成感や、みんなと取り組んだ充実感を味わうことができるよう、教職員一同、しっかり指導・支援していきます。

学習内容も、どの学年もひと段階レベルがあがったような内容が出てきますので、子どもたちの“わかった！”を大切に学習に取り組んでいきます。

自分なりの学び方も見つけられるようにしていきたいです。

1年間で一番日数の多い2学期が子どもたちの“着実な実りの秋”となるよう、学校・家庭・地域が協力して子どもたちにエールを送ってまいります。引き続きよろしくお願いします。

学校長



9月	親子人権学習・PTA 人権講演会
10月	5年生自然学校 東っ子音楽会
11月	芸術鑑賞会 6年生修学旅行 PTA 愛校作業
12月	個人懇談(今年度は2学期も全員実施) 終業式(12月24日)

